

630362



亞細亞局

第一課

兵外務部第六九三號

大正十三年十一月

兵庫縣知事 平塚 廣義

要目付了

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原重信殿
陸軍大臣宇垣一成殿
海軍大臣財部 彪殿
指定之府縣長官殿
支田内務事 秋力 宣殿

大正四年一月六日記録係接受

孫文ノ演説速記録即刷配附ノ件 (其ノ一)
中国ノ民衆神ノ支那部長揚封彭公堂月下旬

孫文氏來神ノ降其歡迎會ノ席上ノ演説ニ於テ孫文氏
講演ヲ速記シ之ヲ即刷配附セシト計劃セシ上凡
報ノ所々國體寫收刷シ一冊部ヲ印刷シ一冊部ヲ
地五拾部宛ヲ大阪横濱ノ各主ナレ左島必東省人配
附シ心模様ナリ其ノ全文左ノ如シ

右及申(通)報候也

(第一)

中山先生及神者團體ノ歡迎会ニ於テ演説
演説ニテハ一ノ十有餘ノ演説ナリ
神者團體ニ於テ演説所ハ日華實業協會中國領事
並ニ支那支那人諸君
本々不語名ノ斯クモ熱誠ナル御招待ニ預リ私ハ感心

MT

161852

0542

MT

161852

0541

REEL No. 1-0976

0307

概無自害アリ。私に令同神に、之を望み、日本を
 方面へ至る致致誠意歓迎ヲ蒙リマシタガ斯ノ如キ偶
 然ノ事情に依リ、モ中日兩國之親善、必要ヲ知
 ル所が出来マス、支那上日本ノ關係に付、云ハバ何事ニ
 依リテ兩國之ハ高事提携ヲ協力シテ進行シ共ニ前
 途ノ發展ヲ図ルベキデアリマス、譬フレバ私ノ今回ノ北
 上ハ南支ヨリ北支ニ行ク即チ自家ノ南方カウ自家
 北方カウ行クニモ尚日本ヲ通過セバナラヌデアリマス
 即チ交通ノ一事ヲ就テ云フモ日支兩國ハ斯クモ密接
 ナル關係カアルデアリマス、其他種々ノ關係ニ於テモ
 希願ニ密接デアリ、五世四國民ハ從來に親善ニハ中
 國ト日本トハ同種同天國家ナル兄弟國ナルアル
 兩國之關係提携スベキデアト申シマス、以テ則日本

(二)

MT

161852

0543

維新ノ元老ハ維新ハ未ダ成功ナキ時ニ於テ既ニ中日
 兩國提携ノ必要ヲ提唱シテ居リ現在日本ハ維新ハ既
 ニ成功シタガ而モ日支兩國之ハ口頭禪ハ尚未ダ目的ヲ
 達スル所が出来カナイデアリマス、此ノ原因ハ何所ニリ
 マヤリカ、思フニ我中國以前ハ只睡眠ニ居リ居リタ
 アリマス、其ノ間日本維新ノ幾十年ヲ至過ニタ、而モ中
 國ハ依然トシテ睡リヲ續ケテ居リタ、故ニ其ノ至過
 ヲ知ラナカシタデアリマス、
 近來モ思フハ大變遷ニ改メ、其カノ東侵ハ昨國ヲ在
 迫致シマス、中國ハ尚睡眠シテ居リタ、知ラサカマダアル
 三手ヲ至リ初メテ中國ノ革命ヲ起ツタ、少數先覺
 者ハ政治改良國民ノ覺醒國家ノ地位恢復ヲ提唱シ
 以前ノ狀態ニ復セシメントシテ外カラアル

MT

161852

0544

MT 161852 0545

国が十六箇国ト訂立するが諸外国が中国に於て是々
 々々條約を中国に不平等なり地位に置き中国に在る
 之種々特別の特利ヲ享有するモノナリマラス
 今次の歐洲戦争の後独逸兩國は此種ノ條約を廢除
 之此兩國の現々支那に於て特別の特利ヲ享有する
 モノナリマス独逸の國種條約を廢除するに理由不
 要スルニ彼等ハ戰敗國トアリ我中國に在る道にせし
 爲メアリマス近來東亞國條約を廢除シタガ之露
 國の革命の後公道主張し彼ノ條約ハ中國に對シ頗
 不平等ニシテ理之背クモノデアリト云知ラタガ故デアリマス
 石ノ如ク三ヶ國ハ既ニ此ノ不平等條約を廢除シタガ他ノ
 三ヶ國ハ未ダ廢除せず然レハ事實上我中國に主權ヲ掌
 握シテ居ルモノデアリマス而シテ不平等條約ハ畢竟如

MT 161852 0547

何レモテアルカト云ハ以前中國政府が五箇國
 民ヲ外人ニ入依ニテ書キタル一ツノ身賣契約デアリマス
 現在此ノ身賣契約ヲ有スルカ高十三ヶ國アル所カ
 ハ高十三人ノ主人ガアルワナデアリマス中國ハ十三ヶ國
 奴隸デアリ十三ヶ國ノ殖民地デアリマス一國ノ殖民地タル
 ハ或ハ容易デアルカモ知レナイカ十三ヶ國ノ殖民地タル
 此苦痛トスル所デアリマス例ハ遠洲ハ英一ヶ國ノ殖民
 地デアリ加不列天南阿非利カモニユーロンド天南阿非
 一ヶ國ノ殖民地デアリマス英國ハ平時ニ於テ夫レ等殖民
 地に對シテ享スル所ノ權利ハ僅シデアリガ而モ一朝特別建
 設戰水雷早天等災害に遭遇スルハ多大ノ義務ヲ
 盡サネハナラヌ彼等殖民地ノ人民ハ母國に對シテ多大
 ノ權利ヲ享有スルデアリマス然レモ吾中國ハ十三ヶ國ノ

MT 161852 0548

殖民地ニアリテ彼等十三ヶ国ハ只中国ニ在リテ特別ノ利
ヲ得ル中国ノ人々ヲ虐待シテ毫モ義務ヲ盡サナイハアリマ
ス故ニ我々人々ハ他人ノ奴隷トナリテ毫モ主ノ恩惠ヲ蒙
ラズ只虐待せらるる者トシテ我々ハアリマス我々ハ
テ行クハ安住ノ所ナキ故ニ外国ニ去リテ一國ノ奴隷ト
ナル公東人ガ香港ニ到リ遠ク南洋群島ニ至リ更ニ南
北アメリカニ到リハ好適例ニアリマス彼等多數者ガ
国内ニ去ルヤ皆郷里ニ歸ルコトヲ想ハナイ自然ニ二國ノ奴
隷タルハ十數國ノ奴隷タルニ比シテ遙ニ愉快ヲ覺スル
アリマス

我々領土ハ米國ヨリモ大デアリ我々人民ハ四億ヲ算シテ米
國ヨリ遙ニ多シ米國ハ現在世界リ中最盛最盛強國
家ニアリマス我々中國ハ斯ノ如キ大領土ト斯ノ如キ多
民

族ヲ擁ニシカウ高一ツノ獨立國家タルヲ得ナイゾアリマ
ス其ノ主要ナル原因ハ所述ノ如ク不平等條約ハ迫ラ
受クルカウデアリマス我々ハ今や十三ヶ國ノ殖民地ニア
ルニ又斯ノ自身サハ高キ和ヲ得ナイ我々僅ニ此所ニ
日本人民ニ之ヲ知ラナイ日本ハ現在東亞最盛強國
ニアリマス我々列強ニテアル若シ日本ニシテ直ニ中國ガ
十三ヶ國ノ殖民地ナルヲ知ルナラバ一獨立國ガ来リテ殖民地ニ
親善セザルカ如キ不平等條約トアル此等道理ハ明
カスルニ就テ自ラカシメテ知カアル
我々東亞昔甲乙兩人ノ朋友ガアリ甲ハ公東人デ乙
東亞公東人アリ地位モアリ一國ノ紳士ト稱スベキ人
乙ハ中國人ニシテ奴隷ノ地位ヲ服セガリテ
アツタ後乙州ニ来リ乙州ニ大ニ侮ケテ多ク大ニ勢ガ

MT

161852

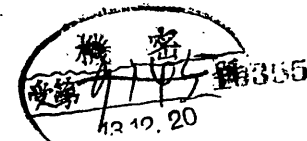
0550

MT

161852

0549

630369



亞細亞局

外高秘第 八五四八號

大正十三年十二月十七日

長崎縣知事 富永 鴻

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿

著名支那人渡来件

青島大學校長

孫子 敬

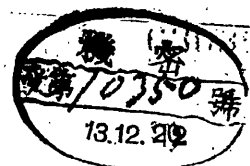
右者東京其他ニ於ケル本邦ノ教育状況

MT 161852 0555

視察ノ目的ト稱シ本月十六日午前八時
當地入港ノ汽船大洋丸ニ上海ヨリ乗船
渡来即日午後一時三十分長崎驛弁列
車ニテ在東京支那基督教青年會館
ヘ向ケ出奔シタリ
右及申(通)報候也

MT 161852 0556

630370



亞細亞局
兵外分秋第二六三號

第二課

大正十三年十二月十八日

兵庫縣知事 平塚 廣義

大正十三年一月拾六日記録係受

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
陸軍大臣 宇垣一成殿
海軍大臣 東郷 虎造殿
指定廳府縣長官殿
立田事務官殿

孫文、演説速記録印刷配付件(其二)

(第三)

孫中山先生東京神戶大坂横濱国民党

支部聯合歡迎會ニ於ケル演説(原漢文)

民國十三年十一月二十五日
黃昌毅 筆記

同志諸君

吾々国民党ハ即チ革命党ナル、民衆ノ名ハ革命黨
ヲ呼スルモノナリ

滿清ノ倒テ以來僅カニ二十三年自來民國ノ名ハアル

カ其ノ實質ハナシ、此ノ名ハ事實ト合致セザルモノナリ

セ、我等ノ革命ハ未ダ成功シテ居ナイ、其

ノ所以ハ反革命ノ力カ尚甚ク大ナルニ起リ、因テ我

革命ノ力カ過大ニシテ革命ノ力ニ抵抗スルカ故ニ

革命ハ一時成功スルコト出来ナイノナリ

革命ハ何ナリアルカ夫レ進歩ヲ求ムルコトナリ

MT

161852

0558

MT

161852

0557

630371

此種進歩ヲ求ム所ノ實力ハ如何ナル民族如何ナル
國家ニ於テハ頗ル大ナルモノナル故ニ革命ノ力ハ
古今中外如何ナル國ニ於テモ一度發生スルハ徹底
的ニ行ハレ成功セサルハ已マサルモノナル孰カノ國ニ所
十三年ニシテ止マラス或ハ二十三年、三十年、更ニ四十三年
五十三年ニシテ尚已マズ革命一日成功セサルハ
其力ハ一日モ阻止スルコトハ出来ナイノテアル革命カ
完全ニ成功シタトイフ初メテ革命ノ力ハ止マルモノテ
アル故ニ佛國ノ革命ハ今年ニシテ成功シタル後華
革命ノ力ハ已マリ而シテ佛國ハ定マツタノテアル中國
ハ革命十三年、年毎ニ及革命ノ力ニ阻マレテ徹
底的ニ成功ヲ見ルコトハ出来ナイカ其及革命ノ
力ハ即チ軍隊ヲテアル軍隊何故如斯大ナル力

MT 161852 0559

ヲ有スルノテアル力軍隊ノ背後ニ帝國主義ノ援助
カアルヲテアル力ヲ打破セバナラヌコトヲ知ラ
フコトヲ力為メニ革命十三年後ノ今日ニ至リ尚
成功シナイノテアル今回北京ニ政治トハ大變化カ
發生シタル此變化ノ一部ハ革命黨ノ執力ニ由
リモノナル革命黨ハ何故ニ北京ノ革命ニ參加シタ
カ十三年前ノ革命ハ凡テ右者ヲヤツタモノナル
カ二十三年前數名ノ同志カ云フニ今後ノ革命ハ若シ右
者ヲアルナラハ力ハ頗ル小ナルカ中央ヲアルナラハ其力
ハ頗ル大ナルカト此理由ヲ彼等同志ハ北京ニ赴キテ
活動ヲ初メタルナル今回ノ政變發生前六ヶ月
彼等同志カラノ報告ニヨリハ中央ノ革命ハ頗ル有
望ナル北京ノ軍人中賛成スル者カ頗ル多イカラ

MT 161852 0560

冬ニラズ多動勢スルニ至ルハトアリシ使等ハ六
 月目前余ニ廣東ヲ棄テ天津ニ赴キ略ヲ遂ゲテ
 中史ノ革命ニ参加スルコトヲ要求セシメ其ノ當時
 余ハ余リ之ヲ信シナカシモノカハラ事實ニ發生シ後
 出樹ル者ヲ返事シテ置イタ所ヲ蘇浙戦線カ起
 ルヤ彼等ハ又余ニ天津ハ出樹ケルヤハ信置スルコト
 更ニ急テアリタ當時余ハ韶關ニアツテ北伐軍
 ヲ指揮シテ江西ニ向ハントシテ居ツタノ北伐軍カ
 金部衣束ヲ駐シテ江西ニ向ツテ後ナラハ出樹ルコトガ
 出来ルガ余カ之ヲ信シテ早ク廣東ヲ駐シテ北伐
 軍ノ進行カ思フ様ニ進ラヌン蘇浙戦線ニ依ツテ
 政局カ變化シ江西ニ駐ル北伐軍ニ賛成セル同志カ
 離散シ韶關ニ居ル北伐軍カ動搖スル恐レカアル故

MT 161852 0561

ニ最モ迅速ニ前進スル性質カアリタ然ルニ十日ヲ経
 ステ北京ニ政變ノ起ツタコトヲ傳ハレ同志カ等ノ
 報告カアリタ斯ノ事實カ既ニ起ツタ上ハ余ハ前報
 ヲ見タ者ハカラ北京ハ出樹セネハナラヌトニナリタ
 初メ北京ニ變化カ起ツタ時ニ國民軍ヲ行カハ頗
 ル革命物色彩カアリタ後余カ韶關カテ広
 州ハ廣州カラ上海ハ行ツテ北京ニ出樹ヲ見ルト自
 實化シテ恰モ別種ノ勢力ノ濫觴ヲ慶ケ余ノ革
 命的行動カナリ様ニ思ヒタ上海ニ滞在スルコト
 數日北京ノ情状ハ更ニ變化シタカ私ニ至急北京ニ
 赴クヤハ信置スルコトカアリタ天津ノ殷祺瑞
 奉天ノ張作霖等代表ハ皆蘇カナカシカ電報
 テ至急北京ニ動カヌタ上海カラ天津ハ直接

MT 161852 0562

行ハ最近日の島力オ島以内ニ船室ヲ取シナカ
ツタリテ日本ハ迂回シテ神戶ニ来タリテアル
神戶ヲ經テ方カ上海ヲ行クヨリ遠ニ好都合ナ
レバ好シ經由スルコトハ日本ノ舊友ニ會フ機會
ヲ得テ最近ニ於ケル日本國民ノ支那ニ對スル感
情ヲ觀察スルコトカ出来ルト思フタリテ遠ニ來タ
リテアル今回ノ北京ノ變化ハ純粹ノ革命的行動
トハ云ハナイガ彼等カ余ヲ歡迎スルハ余ニ絶好
ノ宣傳機會ヲ與ヘルモノナル今レハ吾方國ノ人民ハ
總ヘテ支那ノ和平統一ヲ望ムコトヲ希望シテ居
ル和平統一ニ就テ余ニ數年前カラ主張シテ居
ル此ナリカ彼等誠ニ白頭我ニナカツタ爲メニ
此主張ヲ実行スルニトカ出来ナカッタ、今回余カ

MT 161852 0563

北京ハ行ケル和平統一ヲ遂行スルコトカ出来ルカ
而シテ決定的ニ断言スルコトカ出来又真ニ將來ノ
和平統一ヲ希望スルナラハ先ツ軍械ヲ絶滅セネ
ハナラス軍械ヲ絶滅スルニ軍械ヲ通シテ罪惡ヲ
爲ス所ノ帝國主義ヲ打破セネハナラヌ帝國主義
ヲ打破スルハハハ外國ト一切ノ不平等條約ヲ廢
除セネハナラヌ余ノ今回北京行キノ任務ハ此ノ不平
等條約ノ廢除ニ在ル余カ今回日本ニ三ヶ條等
爲メニ上海ヲ出發シ長崎、神戶ニ來タリテ余
ノ地方ニ於テハ漢山ノ日新報記者カ余ニ來テ
余ノ中國時局ニ對スル意見ヲ發表ヲ要求シテ
余ニ主張ハ中國ノ和平統一ハ中國ト外國トカ訂
立スル不平等條約ヲ廢除セネハナラヌト云フ點カ

MT 161852 0564

根本テアル余今神戶ニ居ルカ日本全國新聞見
ル開カナイテ日本國民カ余ノ此主張ニ對シテ如
何ナル感情ヲ持ツテ居ルカ知ラナイ或者同情
或者反對シテ居ルテアルカ余カ此兩ニ對シ
面會シテ善友ニ皆充テ同僚ヲ表レテ居ル余ノ之
等友人日也一辯論ヲ代表スルコト出来ナイガ
係シ其何レモカ日也三能テ余ノ主張ヲ宣傳ス
ノ任務ヲ負フモノナリテアル中國ノ能平統一
付テ何故余カ不平等條約ノ廢除ヲ主張スルカ
能平統一ニ改訂願テアル不平等條約ノ外
交問題テアル余等カ内政問題ヲ言フスルニ過
ツテ何カ以テ外交問題ヲ引合ニ出スカ中國ノ内
政カハ諸種ノ勢力ニ就レモ大ニテ力ノナリモノテ

MT 161852 0565

アリテ現在中國ニ於テハ最大ノ勢力カ余ニ在リ
革命黨ナリテアル諸君知レテ疑フナリハ吳佩
孚ノ歴史ヲ考ヘテ見ルカ良イ吳ハ袁世凱以
前ニ於テハ最大ノ軍閥テアル吳ノ軍閥ハ畢竟
何處カラ起リタカ彼ハ民國五年迄ハ一個無名
ノ秀才テアルヲ誰モ彼ヲ知ル者ハナカッタ余ヲ率
ヒテ湖南、衡州ニ來テ南方ヲ討ツト平高一旅
長ニ過イナカッタ當時南方政府ノ總裁制ヲ
アルテ余ハ其總裁ノ一人テアルタ南方政府ハ
袁世凱等ニ兵ヲ用ヒシ年イテ金十萬元ヲ與ヘテ
北方政府ハ袁世凱等テアルカラ兵ヲ用ヒシ年對
テト補助タリ所々彼ハ南方カラ多大ノ軍餉ヲ得
テ武漢ニ還リ更ニ退ムヲ洛陽ヲ占領シ絶テ

MT 161852 0566

武力ヲ以テ殷復讐ヲ倒シテアル殷ヲ倒シテ
 漢ハ口頭ニハ民権ヲ以テ自ヲ佐シ北京政府ハ
 黙シ居ルナリ國民會議ヲ開リテ要スト宣旨シテ蓋
 シ夫ハ策謀ヲ下リテ國事解決ノ核心中ニ在リ
 高第ニ袁世凱ヲ倒シテ居タルアル外國人ハ
 彼ノ心理ヲ觀察シテ新債權ノレトナレ事毎ニ
 彼ヲ援助シテ利ヲ合算シテ居タルハ從テ吳ハ
 心驕リ外國ノ援助アル以上天下ノ事何事カ或
 リ升リテ高第ニシテ武力ヲ用ヒテ換テ國民ヲ
 弄レテ安否果其能ハサレニ至ラシメタルデハ
 故ニ吾々革命黨國ヲ救ヒ民ヲ救ハカ爲ニ吾等
 一黨力アル者ト連絡シ共闘シテ今回彼ヲ倒シメテ
 アル諸君諸君之レハ依テ吳ノ成功ハ民権ノ大權

MT 161852

0567

テアリ吳ノ失敗モ亦民権ノ爲メナル吳ノ成功モ
 失敗モ完全ニ民権ノ力ニ依ルモノナルトモ革命
 命ノ力ハ當然吳佩孚ニ優テ居ンコトヲ知ルテ
 アロシ

吳ハ數年中軍閥ヲ以テ自ヲ佐レ事ヲ武力ヲ以
 テ民衆ヲ壓迫シ民権亦甚シク其壓迫ヲ受
 ケテ其黨國ハ外交上帝國主義ノ援助ヲ受ケ
 テ居タルデ中國ニハ只帝國主義ノ力カアルテ
 民権ノ失シヨリモ大テアルカ爲メナル我々革命黨ハ
 中國ニ於テ自今再ヒ軍閥ノ奔生セサランコトヲ
 望ミ軍閥カ奔生シナケレハ國民ハ自由ニ國事
 ヲ解決シ中國ハ永久ニ和平統一スルコトカ出来
 ル又我々ハ支那ヲ救ヒテ民ヲ帝國主義ノ洗滌

MT

161852

0568

630376

ヲ阻止シ其消滅ヲ望ムト切テアル故ニ余カ内政問題
ヲ論ズルニ當リテ外交問題ヲ引出シ一切不平等
等條約ヲ削除セントスルニ案ニ此ノ旨ヲ示サヌ。

17

MT

161852

0569

REEL No. 1-0976

0321

機密
號 10420
13.12.22

第一課

兵外彙編第二卷三十一頁

大正十三年十月十九日

兵庫知事 平塚

綴込名

要略

內務大臣
外務大臣
陸軍大臣
海軍大臣

若槻禮次郎
幣原重光
宇垣一成
財部

齋藤實
齋藤實
齋藤實
齋藤實

立國通西事補卷

大正七年一月十六日 記錄係接受

孫文、演說、陳記、錄、印刷、配、附件（其三）

支那に活動して居る外國人例に教師、宣教師、
並に商人等皆已し、今ニ安ンジ已レテ制ス者ヲ
アルカ、其數シ今ニ安ジナイ、今子カアル、之等其浪民
ハ皆本國ニ在リ、其利ノ技能モナイカラ、其活動
コト由來ナイカ、一度中國ニ来ルト、數年ナラズレ
テ中國ノ内情ヲ知り、官僉ト交リ、軍閥ニ迎合シ
テ、鬼トシテ爲サルバナイ、即チ不平等條約中ニ
記載シテ、其事柄ノ使等ヲ庇護シテ、恰ニ皇席
ノ如クスル、テアル故ニ、此數年來如何ン軍閥ト
對テ事ヲ爲スニハ、伊テ其背後ニ策人カノ外
國政客カ活動シテ例ハ、廣州商會ハ武器ヲ買ツテ
自衛シテ居ルカ、頗ル自重シテ政社ニ對シテモヨリ、其ノ
命ニ從ヒ今ニ安シテ居ルカラ、廣州ノ民虎タルト

MT 161852 0571

MT 161852 0570

否トテハ不慮ノ事トモイフ意思ヲ疎通シテ何等事
 件ヲ生スル様ナコトハナカッタ
 然ルニ三年來我人ノ英國人、其特權ヲ新廣物ニセ
 ヲトスル國民黨ヲ好マズ國民黨政社ノ發展ヲ抑留
 セス新ニ且ツ大ニ陳腐化ヲ煽動シテ國民黨ヲ動か
 シテ廣州ニ於テ内部ナラバ國民黨政社ニ反対セシメ
 陳元來滙豐銀行ノ買辦テアツテ人盡知スル
 商人アリ決シテ何等ノ野心ヲ抱フル者デハナカッタ
 タカ彼力滙豐銀行ノ買辦テアル所カラ國民黨政
 社ニ反対スル英國人ニ彼ト相識リ日々彼ニ運動
 シテ政社ニ反対セシメ若シ君カ國民黨ヲ動かシテ政社
 ニ反対ナルナラバ我人ニ極メテ易キ事モナラズ我
 人英國ハ君ヲ援助シテ商人政社ヲ組織セシメ

MT 161852 0572

アツ、然ラハ君ハ中國ノワシントレテアルト煽テ
 上リテ陳、初ハ知心ハナカッタカ英國人々色々ナ
 運動ニ動かカシテ英國ノ援助ヲ受ケ具々自身
 沙面ニ往テ居テ英人ノ保護ヲ受ケ六安全アル所
 而テ大膽ニナリ遂ニ野心ヲ起スニ至リテ而シテ沙面ニ
 駐ル國民黨政社ニ対シテ極メテ反抗運動ヲ初メタ
 彼ノ最初ノ仲間ハ僅カ人数ヲカツテ運動ノ結果
 仲間ニ入レタ國民黨連中ニ三五十人ニ過
 ナカッタヲ廣州ノ革命政社ニ反抗スルニ意欲
 カナカッタ、茲ニ於テ彼ハ英人ノ意見ニ從フテ新ニ
 武器ヲ購入シテ制ニ軍隊ヲ組織セリト云フ、又
 彼ノ買ツタ軍器ハ皆佛ト謂フ新式軍艦
 フリヒテ廣州ノ運上其ノ船カ廣州ノ着イタ時

MT 161852 0573

630378

630379

政府は、調へ出せしむる下、政府ハ一面其武器
積載ノ船ヲ抑留シ一面其ノ人ヲ派シ其ノ軍器
ノ来歴ヲ調査シ初メ其ノ軍器ハ商國ノ名義
ヲ輸入シテモアルコトヲ知リテ其船ヲ利着
スル五日前陳康伯ハ國團名義ヲ政府カラ獲
取ラ取リテ其ノ護照ハ四十日ノ後始メ其
力ヲ發生シ其法五ノヲ至ハ無効トナルコトヲ
條件トシ然ルニ事實ハ護照面ハ非偽ハ差異
カアリテ僅ニ五日シテ既ニ威嚇ハ利着シタル政
府ハ茲ニ疑ヲ生シ進ムテ調査スト軍器ヲ積載シ
船ハ其ノ國人ノ所有船アルカ知ラ爾ハ廣東ニ
領事ヲ置イテ居テ一ノ總テノ通商事務ハ該
領事ハ代理シテ居ル時該領事亦不在テ英

MT 161852 0574

國領事ニ代理。要地ニテアツク我々英國領
事ト交渉シテカ英國領事ハ我々交渉員ト私交
ニ於テ非常ニ親密ナルヲ陳ノ軍器購入ニ
細テ諸レテリシ君ハ其陳ノ行動ヲ知ラナイカ
香港海ノ外字封鎖ハ其ノ方カラ陳カ國團ヲ動
カシテ政府ニ反托セントシテ居ルコトヲ書イテ居ル君等
ハ封鎖ヲ注意シテ見テ居ナイノカ自カカ安
ク所ヲ話シテ聞カソウ我々英國ノ國人ハ反シ
カ陳ニ軍器ヲ買見軍隊ヲ練ワテ廣州
政府ニ反托ノ準備ヲシテ居ル力之ハ先ツ第一級
ヲアル軍器ノ後更ニ第二第三ノ手放カアル以
テ其ノ主張ハ只僅カメ英人ノスルコトナルカ自
人カハ故社ニ報告シテ激辨セウ、君ハ國團カ陳ト

MT 161852 0575

接
還

630375 630380

其謀不遂、處理上、給い、一、少、政社、之、等、事、措、け、
詳細、知、り、即、ち、該、船、ノ、軍、器、ヲ、全、部、抑、留、し、多、時、
大、義、ヲ、辨、明、せ、給、ふ、高、國、ハ、政、社、ノ、辦、理、ヲ、承、認、
し、何、等、不、穩、ノ、行、動、ニ、出、ツ、ル、モ、ハ、ナ、カ、ワ、タ、ノ、テ、
然、ル、ニ、陳、康、伯、沙、面、臨、テ、英、國、人、ノ、鼓、動、ヲ、度、け、
無、智、識、ノ、高、國、ヲ、抑、制、し、政、社、ニ、抑、留、軍、器、
ノ、辦、理、ヲ、要、求、し、政、社、力、其、要、求、ヲ、容、忍、し、
即、ち、廣、州、全、体、ノ、商、人、ヲ、抑、制、し、罷、市、し、
政、社、ヲ、抑、制、せ、し、メ、リ、或、日、一、千、余、人、ノ、商、民、
被、害、ノ、隊、伍、ヲ、取、り、河、南、ノ、大、如、營、ハ、事、々、
金、銀、ヲ、出、し、收、等、ニ、面、会、し、高、國、力、軍、器、
ヲ、購、入、せ、し、純、テ、ノ、護、照、ニ、ハ、日、限、カ、示、さ、
陳、康、伯、ニ、面、會、し、自、以、後、ニ、有、効、ナ、ル、ハ、キ、コ、ト、

MT

161852

0576

テ、明、示、し、居、ん、ニ、拘、ハ、ラ、ス、軍、器、ハ、護、照、
領、後、自、レ、テ、既、ニ、在、河、ニ、別、看、し、之、一、ツ、
點、ツ、テ、又、軍、器、ノ、數、量、ハ、護、照、
シ、テ、アル、カ、其、數、ハ、九、千、挺、ニ、過、キ、サ、イ、
伏、ル、ニ、別、看、し、之、一、ツ、
疑、點、アル、軍、ニ、護、照、ニ、秋、ヲ、謂、フ、
ニ、ツ、疑、點、アル、軍、器、ハ、新、テ、私、通、
ハ、シ、テ、又、英、國、領、事、ノ、該、部、
カ、レ、余、ハ、軍、器、ヲ、買、入、し、兵、
ト、シ、テ、居、ル、ト、云、フ、コ、ト、
ニ、被、害、ノ、隊、伍、ノ、數、量、
明、白、ナ、リ、ト、非、常、ニ、
テ、モ、ナ、カ、ツ、

MT

161852

0577

以後政府ハ更ニ陳ノ叛跡ヲ取調ベ萬事明白トナ
シテ之ヲ商團ニ通知スルニテ續上公文ヲ用ヒテ
「私函ヲ以テシテ即チ商團ノ各代表ニ陳ノ反逆
詭謀ハ已ニ取調ベテ明白トナワタ、汝等商團ハ共
謀者デナイト思フカラ政府ハ快シテ處分シナイ、若シ
共謀者デアラハ断シテ懲罰ノ途ヲ取ル旨ヲ通ジ
タ陳ノ仲間等ハ全体商團ヲ鼓動シテ政府ニ寛
大要求シ連類ヲモリ拘引シナイコトヲ懇願シタデ
政府モ彼等ノ要求ヲ容レ連類者ヲ拘引シナカツタミ
ナラハ重罪ニ處シタモナイ、陳ハ政府ノ態度ガ強
硬デアリヲ見テ大ニ悔リ更ニ商家ヲ鼓動シテ能
市ニ政府ニ抑留軍器ヲ返還ヲ要求シテ政府ハ又平和
ヲ欲シ省民ヲ思フガ故ニ彼等ノ無罪ナル要求ヲ容レ

MT 161852 0578

護照面記載ノ数量ヲ分割シテ返還スルコトヲ許シ
慶日ニ面長短銃四丁挺彈丸三十万発ヲ返還シ
タ、所カ陳一伙ノ者共ハ政府ガ次第ニ讓歩スルヲ見テ
興ニ易下爲シ益々商團ヲ鼓動シテ不穩ノ氣勢ガ
ヲ揚ゲ、國慶日ニ銃器固收ノ際ハ政府ニ對シ武裝
シテ示威シ且ツ靜肅ニ双十節ヲ慶祝シテ居
タ曲辰團軍、工團軍及文武学生多數ヲ濫リテ殺
傷シテアル、

陳ハ國慶日ニ銃ヲ回收シタル後謀及セルト計劃シテ
西安ニ土匪三千名ヲ招集シ商團ヲ襲ハタシテアルカ
商團ヲ襲フタ土匪ハ國慶日ニテ殺戮シタノミナラズ殺シ
タ者ノ肝ヲ剖リ肺ヲ割キ頭ヲ割リ脚ヲ切り屍ヲ
數個ニ分割シテ街上ニ運ビ、公衆ニ對シ慘憺タル無
人行爲ヲ示シ政府ガ商團ヲ如何トモ処分シ得ザルヲ思ハル

MT 161852 0579

030384

630384

ルイジアナ

(以下追報)

テ中国ハワシントンシテアル廣州ハ久シカラスレテ
商人政社カ實現スルカアロウトノ論調ヲ奔
見スルテアロウト以テ英人ノ心中ヲ知ルニトカ
出来ル事ニシテ英人ノ陳トノ此ノ陰謀ヲ成
功カ若レ不キニシテ或モナラハ左東ノ第二
ノ印度トナツタヤカニ英カニテ免カレ得タハ
実ニ天佑テアツタ然レモナカクニ北伐軍ヲ
中止シテ廣州ノ一商場ヲ擾乱シ全南ヲ
騷然タラシメタハ畢竟之ヲ外人ノ力カ暗
中ニ左東ヲ擾乱シタカラニ外ナラズ之ヲ云フ
中国全般ニテハ同様にアル此故ニ我々
ハ茲ニ左東ノ大ニシテ巡リニ中国ヲ擾乱セルト
スル外ニ他ノ年ヲ拂ヒ退ケヤウトセカメテ居

MT

161852

0585

MT

161852

0584

機密
受第 044 號
13.12.22

第一課

要論

兵庫分知事 平塚

內務大臣
外務大臣
陸軍大臣
海軍大臣
樞密院
財政部
司法官
立憲
立田
連
一四事新官
殿

正四年壹月拾六日記錄係接受

要目付了

孫文演說速記錄印刷件（其四）

原漢文

外人の支那に於て攪亂スルヲ防止スルニハ即チ中國

力永久ニ平和ヲ知ニサルト云フコトヲアル（拍手）而シテ之ヲ防
止セウトスルニハ其ツ外人ノ支那ヲ侵略スル原動力ヲ
無クセヌハナラヌ而シテ夫レヲ要スルニ一切ノ不平等條
約ヲ廢除スルコトヲナクテハナラナイ（拍手）一切ノ不平等
條約ヲ廢除スルハ祖國、海關及領事裁判權
ヲ回復スルコトカ出来ル中國ハ外國ノ束縛ヲ脱
シ本来ノ自由ノ身ニ還ルヲアル（拍手）
極メテ最近ノ道理ニ依リテハ諸君ハ彼ノ不平等
條約ハ寧ろ竟何物ヲアルカラ知ルニカ出来ル
即チ我々ノ身賣リノ契約ヲ中國ト外國ト
訂立シタル條約ノ權利ヲ喪失スル條約ニ要スルニ
我々國民ヲ外人ニ入質シタコトニ外ナラヌ、當時ノ
政府ハ我々ニ代リテ條約ノ身賣證書ヲ書イタ

MT 161852 0587

MT 161 52 0586

「テアル」帝に中国国民の身賣則ち一國をテナリ
十数國に賣つてアル
中国の地位、諸藩、一体、位、テアル、力、多ク、
人、中国、現在、半殖民地、アル、ト、云フ、テ、全殖民地
アル、ト、認メ、ナイ、斯、ハ、見解、ヲ、持ツ、人、自ラ、知ル
コト、出来、ナイ、人、アル、即チ、中国、現在、一國情ヲ、知ラ
ズ、人、アル、若シ、中国、ハ、半殖民地、アル、ト、云ハ、ハ
中国、ノ、地位、ハ、純殖民地、地、比、レ、稍、高、ク、ナケ、レ、
ハ、ナリ、又、今、一考、下、ル、所、ハ、中国、ノ、現在、ハ、半殖
民地、アル、モノ、ナリ、又、純殖民地、アル、モノ、ナリ、夫、レ、比、レ、テ、
尚、低、イ、ナリ、アル、以、テ、道理、ハ、極、メ、テ、明白、アル、例
ハ、香港、ハ、完全ニ、割讓、シ、英國、ノ、支配、下、ニ、入
リ、英國、ノ、全殖民地、アル、上海、ハ、依然、支那、ノ

MT 161852 0588

領土、アル、一、時、外國、ノ、侵襲、アル、ニ、過、キ、又、カ、
半殖民地、アル、即チ、之、不、定、面、ニ、就、キ、去、ハ、香港、
ハ、全殖民地、アル、上海、ハ、半殖民地、アル、ト、云、ハ、
上海、ノ、中国、民、ノ、主權、ハ、當然、香港、ノ、中国
民、ニ、比、較、シ、テ、高、ク、ナリ、ハ、ナリ、又、然、ル、ニ、事、ハ、果、ス、何、テ、
ル、カ、香港、對、シ、テ、英國、ハ、總督、ヲ、派遣、シ、以、て、管理、サ、ル、
居、總督、ハ、香港、ヲ、管理、ス、ル、為、メ、香港、政府、ヲ、設、キ、更
ニ、立法、局、ヲ、設、キ、テ、香港、ノ、土地、人、民、ヲ、支配、ス、ル、法律、ハ、皆
此、立法、局、カ、ヲ、奏、布、セ、レ、テ、施行、ス、ル、其、立法、局、内、ニ、數
名、ノ、支那、人、居、テ、局、内、テ、重大、ナ、事、ヲ、議、サ、ル、
法律、ノ、編、制、ニ、係、リ、テ、事、實、上、香港、ノ、以、て、管理、ス、ル、多、ク、英、人
ニ、由、リ、出、来、ル、上海、ハ、我、中国、ノ、領土、アル、租界、内、ニ、就
キ、ハ、大多數、ハ、南、洋、中國、人、アル、大多數、ハ、納稅、者、也、

MT 161852 0589

支那人ヲナル試ニ問フ中國民ハ上海工部局ニ於テ
 言權アリヤナシヤ又中國人ハ上海工部局ニ於テ法
 律ヲ編訂シテ事ヲ安んず上海ノ管理ニ參與スルヤ
 否ヤ我々ハ上海ノ主人ヲナリ得ルヤ外來ノ人若クテ
 アル然レバ彼等ノ主人トナリ中國ノ領土内
 ニ於テ政府ヲ組織スルヲ中國人ニ任セテ居ル而モ
 我々主人トシテ中國人ノ何等ノ事ヲ裁カナイノナル者
 ト上海ト比較シテ中國人ノ當リタル主權カ果シテ孰シカ
 高キカ孰シ上海カ斯ノ如キノミナラス外人ノ利所各地
 方孰シモ無法爲ナリテ欲スル所ヲ爲スルニ任セ余ハ敢テ
 謂フ中國ノ現在ハ紙上ノ領土ヨリ尙一般低キ地位ニアルト
 余ハ此形勢ニ對シテ新名詞ヲ作リテ中國ノ次殖民
 地ト呼ブノナル見ヨ今殖民地ノ人民ハ只一國ノ奴隸

MT 161852 0590

テアリテ母國ニ對シテ主權アリ有テ居ル然ルニ
 我々中國ノ奴隸ノ國ノ奴隸ヲアリテサレモ主權ノ認ムハオ
 モノガナイ元々ヤナシカ一例ヲ舉ゲルト瀋川ハ英國ノ
 殖民地ナリルカ左記ニ重弗利加ノ各地方モ皆英
 國ノ殖民地ナリル之ニ等ノ各殖民地カ設立セル政
 府ハ各母國カラ對シテ主權ヲ行使スルニ得ル
 下母國カラ輸送シ來ル貨物ニ對シテ殖民地政府ハ自
 由ニ徵稅スル下カ出來ル英人ハ夫レ等ノ殖民地ニ行ツ
 後並道ノ商賣ハ出來ル方紙幣ヲ濫發シテ殖民地ノ金
 融ヲ乱スルハ出來ル英人ハ殖民地ニ在リテ罪ヲ犯ス場
 合ニハ殖民地ノ法庭カ裁判シ英國人カ罰ニ法廷ヲ作ツ
 テ裁判スルニハ出來ル又借問ス英人カ支那ノ港ニ
 來ル時ニ中國政府ハ之ヲ檢査スルノ權利カアルカ
 英國ノ貨物カ到着スル時中國ノ海關ヲ課稅スル事カ出來ルカ

MT 161852 0591

英國が支那ノ各開港場ニ於テ銀行ヲ設ケ、紙幣ヲ
濫發スルニ對シ中國政府ハ之ヲ検査シ禁止スルノ權利カ
アルカ、英人ガ中國各地ニ寄附シテ若シ罪ヲ犯シ其
國法廷ニ被テ裁判スルコトが出来ルデアルカ、英人ノ
等ノ行動ハ本國ノ殖民地ニ在リテハ如何ナルカ、更ニ彼等
ノ祖國ニ於テハ如何ナルカ、獨リ之英人ガ斯クノ如ク中國ニ於
テ横行スルノミナラズ各國ノ亦之ヲ模テアル故ニ中國人ハ
一國ノ奴隷タルニ止マラズ之ヲ模テ數個ノ奴隷ナリ
アル中國ノ地位ハ其ニ一落千丈亡國ノ地位ニ較ビテ尚
低クナルアル朝鮮ガ日本ニ占領シ、安南ガ佛國ニ占領
シト同様ナルニ而モ朝鮮ハ日本一國ノ奴隷ナリ、安
南ハ佛一國ノ奴隷タルニ過ギナイ、朝鮮人ヤ安南人地
位ハ中國人ニ比較シテ尚高クナルアル、我ガハ必ラズモ外國

MT 161852 0592

ノ領土ヲ以テ比較スルニ及バナイ、因テ中國内ニ於テモ完全ニ
外國ノ有トナツタモノト未分ニテ免カレ居ル地方トヲ較
ヘテ見テモ非也、ナ相違ハアルカ、判ル、香港ノ公園ハ
正中國人モ自由ニ出入シ得ルカ、上海ノ黃埔灘ヤ北四川路
ノ公園ハ其ハ公園ナリ、我々中國人ハ今日高中ヘ入ルコト
出来ナイアル、以前ニ其等公園ノ入ルコト猶ト中國人ハ
カラ下書クヲ制レテ建テアルヲ流石ニ今其ノ制レ
ハ取り除ケタカ、英人ハ高取情ナリ、香港ニハ如何ナリ
方デモ中國人ハ行クコトが出来ルカ、上海ハ中國人ノ行
ケナイ所ガ幾何ナルカ、例ヘバ上海ノ英國公館ハ中國人
ヲ入レナイ、其内ニ住ニテ居ル英國人ハ病氣ヲ中國人ガ
之ニ見ルニ難シ、行カウトシテモ林市例ヲ破リテ這入ル譯
行カナイアル、香港ノ英國人ガ被テハ中國人ハ其友人

MT 161852 0593

630389

ニ逢ヒテモ行ケル食事ニモ遠ク、嗚呼我々中国ノ
地位隨テ落ハスノ如キモノナル若シ國民精神ヲ振
作シ國心協力シテ祖界侮英又領事裁判權ヲ回復
シ切テ平等條約ヲ廢除スルヲ思フナクハ我
々ハ即チ吾界ノ國民ヲハ無ク（柏年）

（以下追放）

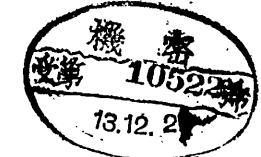
5

MT 161852

0594

REEL No. 1-0976

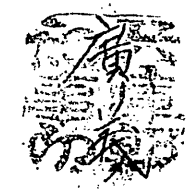
0334



亞細亞局
兵外弁秘第2693号ノ七

大正十三年十二月二十二日

兵庫縣知事 平塚



内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原表重郎殿
陸軍大臣 宇垣一成殿
海軍大臣 東郷平藏殿
指定府縣長官殿
立田、連内務事務官殿

大正十三年一月十六日 記録係接受

孫文ノ演說連記録印刷配付ノ件(其ノ五)
(其ニノ續キ)
(原漢文)

現在北京ニ大變化カアツタノヲ余ハ自由ニ北京ニ行キコト
カ出来ルベシ北京ニ行ケハ國民會議ヲ開キタイシ此ノ
會議ヲ直チニ開カレ、ヤ否ヤ、疑問ナルカ否ヲ問
中得ルナラハ余ハ第一ニ提議シタイ事カニツアレ、ツハ
國民生計ノ改良ヲアリ、今ツハ對外不平等條約
ノ改訂ヲアレ、若シ國民會議ヲ開キ得タイナラハ余
等ハ此ノ事ニ成功シタイヲアロウ、此ノ事ヲ成
功カセシムルノ内ニ國民會議ハ開催ラハ要トスル而
シテ此國民會議ヲ開キ、人民力提唱シテ國民會議
組織カ法ヲ講セハナラ、又何トナラハ全國人同調査
ヲ不確切ナルヲアリ、人民力ヲ直接代表ヲ派遣スル
外國性多ク、タイ此故ニ余、其ノ宣言ノ内ニ全國ニ組
織的團體カ出来、夫レカラ選出シ、代表ヲ公認ス

MT 161852 0596

MT 161852 0595

630391

6303.11

ニ派レテ國民會議ヲ組織スヘキコトヲ主張シタル者
言中別等ノ団体ニ漏ルヲキモ多クナルヲ以テ
例ニ報界ノ如キ列入シテナイ故ニ私ニ上海ニ於テ
報界団体ノ加入ヲ主張シタルヲ諸君等海外ニ在
留者団体モ列入シテナイカ在外華人力受リル種々ノ壓
迫ヲ解決スル為メニ華僑団体並當然加入スヘキデア
ル(拍手)全國國民一致力爭シテ全國ニ組織的団体ヲ
作り一齊ニ加入シテ初メテ國民會議ハ強大ナル力ヲ
スルコト出来ルコトアレバ何カ故ニ國民會議ニ強大ナル力ヲ
必要トスルコト云ハバ即チ國民全體ノ主張カアワテコソ
初メテ内ニ對シテハ國民ノ生計問題ヲ根本的ニ改良シ
得レ外ニ對シテハ不平等條約ヲ改良シ在野各國民
人民ノ視聽ヲ動カストカ出来ルコトアレバ現在中國ニ

MT 161852

0597

於テ擾亂スル外人ハ極メテ少シ故ニ深慮者ニ違フ又カ外
國ニ對シテハ公道ヲ主張スル策多ク外人ハ恐ラクハ這ノ
詳細ノ状況ヲ知ラナイノ故ニ公平ナル外人カ中國カ不
平等條約ニ依リテ非常ナル害ヲ被リツ、アルコトヲ知ル
ナラバ彼等ハハスニ義ニ依リテ我々ヲ援助シテ彼等ノ政
府ニ不平等條約ノ廢除カヲ要求スルヲカヨリ恰モ
米國ノ南部ノ人カ以前黒奴ヲ虐待シテ居ツタニ對シ
北方ノ人カ不平ヲ鳴シテ南北戦争ヲ惹起シテ迄モ黒
奴ヲ解放シタト同様ナル
故ニ余等カ今回禁ニ赴ヒテ百身ヲ入ル國民會議ハ最
モ強大ナル力ヲ持ツモノナリナラナイ、國民會議ニシテ海
外ニ在リテ外國新聞記者カ充分注意スルヤウナリ、國
民會議ノ席上ニ於テ討論スル不平等條約廢除ノ議

MT 161852 0598

案議案ノ説明及テ除ノ種々方法ニ付外國記者ヨリ注意ヲ調査シ詳細ニ報告シ本國ニ電報レ而シテ外國記者外國人ニ詳細ニ此案ノ内容ヲ研究スル意ルヲテロリ、然レ設ク公道ヲ主張スル外人ニ皆詳細ニ條約ノ内容ヲ研究スルナラハ内容頗ル不公平ナ道理ニ背クモノナルコトカ明白ニ述テ必スヤ吾國ノ公心ヲ勸カシ得ルヲアロウ而シテ波瀾ハ必ス我々ノ同情ヲ表スルコトヲ吾國ノ公道ヲ主張スル人々ニ皆我々ノ同情ヲ表スルニ至ラハ我々ハ決シテ公平條約ノ廢除不可能ヲ愁フルコトハイハ我々中國民ナレバ此大目的ヲ達成セトセバ此ノ際ニ於テ北京并全國ニ向テ力ヲ用セバナラヌ全國民等皆電報ヲ送リテ爭ハバナラヌ國民方此種國家ノ重大事ニ付筆面通策ヲ

MT 161852 0599

通ノ電報ヲ送ルハヨリ筆千紙万ノ兵ニ相當スル若シ人オカ國民ノ一萬通ノ電報ヲ得ルナラハヨリ國民會議ヲ開クコトカ出来ル余ハ北京ニ赴キ其ノ一カノ電報ヲ以テ軍閥ト力ヲ爭シ以テ和平方法ヲ講レ得ルト確信スル一カノ電報ハ実ニヨリ一カノ兵力ニ優ルナル(拍手)諸君対此ノ平等條約ノ廢除セムトスルハ國民會議ヲ開カバハナラヌ國民會議ヲ開カムトセハ國民大衆力有驕テ一致要求セバナラヌ又ナラヌ(拍手)今晚此所ニ会シタル人々皆本度員天下ヲ日本各地ニ於テ同志ナル教會ノ後在處ノ主張ヲ果行セラシム即チ書信電報ヲ各方面ノ友人又ニ支那ノ家族ニ送リテ國民會議ノ重要ヲ示ストテ説明セラシム諸人ノ親族知己友人ヲテ國民會議開会ニ一致賛成セシメラ

MT 161852 0600

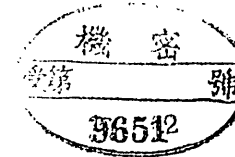
630393

レヨ国民会議ニシテ開会レ得ルヲハ即チ和平ハ統一レ
 在ル即チ大衆ハ太平幸福ヲ享ケルコトヲ出来ル若シ
 国民会議ニシテ開会レ得ルモズンバ中國ハ依然トシテ
 大乱已マス大衆ハ尙兵災ノ禍ヲ受ケネハナラヌ又嗚呼
 諸君大衆ヲ將來禍ヲ推シ或ハ福ヲ享ケルニ即チ
 皆大衆自身ガ之ヲ求メルチアル(拍手)今晚ハ各同
 志カ余ヲ歓迎シテ下イッタ余ハ此ノ機会ニ於テ夢
 寐ニ至ル國ヲ忘レナイ諸君ニ対シテ希望致シマス
 諸君國民會議ノ開会ニ対シテ一致シテ努力奮闘
 セラレントヲ

(完)

MT 161852 0601

630394



外高 亞細亞局

大正十三年十一月二十八日

長崎縣知事 富永

鴻

外務大臣 若槻禮次郎殿
 指 定 廳 府 縣 長 官 殿
 連 大 久 保 立 田 各 事 務 官 殿

孫文ノ來朝ニ對スル在留
 支那人ノ感想其他ニ關スル件
 本月二十一日在上海官憲ヨリ當
 地支那領事館へ孫文一行神戸行當

年壹月拾六日記録係接受

トシテ上海丸ニ乗船シタル旨電
 報アリタル由ナルモ一行が同船
 ニテ神戸ニ直航スルカ或ハ當
 二上陸鐵路ヲ以テ直ニ上海丸宛
 問アリタルヲ以テ直ニ上海丸宛
 無線電信ニテ問合セ末ダ其返信
 ニ接セザリシモ當夜ハ重立チ夕
 ル會合日ニ社交機関タル高務總
 ノ會合同員及各方面有力支那人
 事ハ會合ヲ乞ヒ一行ノ歡迎方ニ
 關シ快議スルハ唯アリシガ孫文
 行今田ノ旅行ハ唯一私人トシテ

MT 161852 0603

MT 161852 0602

渡來シタルモノナルヲ以テ在留民
 全體トシテハ歡迎ノ要ナルベシト
 稱ヘ又或者ハ一行ノ當地ニ於ケル
 グラハ不明ニテハ歡迎ノ計劃等ハ
 不可能ニアラズヤ等ト稱シ暗ニ不
 賛成ヲ稱フル者多ク結局一行ガ當
 日當地ニ滞在セバ領事館員ノミニ
 テ歡迎會ヲ催シ翌日モ尚引續キ
 滞在スルモノトセバ商務總會員
 ニテ招待スルコト、シ出迎トシ
 テハ領事及館員全部在留民代
 表者トシテ商務總會々長及副
 會長ニ名トシ其他出迎ハ各自

ノ事由下決議シタル為メ寄港
 當日ノ出迎ハ同國留學生及
 中學校小學校ノ生徒等ヲ除
 一般在留者ノ出迎ハ意外ニ少ク
 留學生等ヲ除キ一般ノ氣受願ル
 異シカリシモ別ニ不穩ノ言動ニ
 出ヅルモノナカリキ
 右ニ對スル在留支那人ノ感想
 孫文ハ徒ラニ兵ヲ好ミ多數ノ兵
 ヲ養ヒ苛斂誅求ヲ事トシ商軍
 ヲリ武器ノ押収ヲナシタル等孫
 トシ云ヘバ之ニ賛セズ孫文ハ他

MT 161852 0605

MT 161852 0604

ノ督軍ノ如ク私腹ヲ肥サズ常ニ支
邦四億民衆ノ幸福ヲ念トスル關係
上勢ヒ北方ト合ハズ廣東ニ政府ヲ
樹立シタルモノニシテ相當税金ノ
徴收ハ己ムヲ得ザル處亦昔日今
日トハ物價ノ關係モアリ高率ナル
ハ當然ナリ最近ノ商民團武器抑収
ノ如キモ流シテ政府側ノミ異シキ
ニアラズ彼ノ不安ナル時機ニ際シ
一萬ヲ算スル多數ノ武鬼ヲ輸入シ
若シ之等ノ武鬼ガ陳炯明側ノ手ニ
入ルガ如キコトアラシカ一大害ニ
シテ其他當初商團側ヨリ願出ノ

数ト實際ノ輸入数量トハ非常ノ差
アルノミナラズ小銃ト稱シナガラ
小口径ノ砲モアリ機關銃ト稱シミ居
リ其上三ヶ月後ニ輸入スト稱シナ
ガラ願出シ四日目ニハ既ニ輸入セ
ラレ居タル如キ抑収セラル、モ無
理カラスコトナリ

福州同鄉會長 貿易商 詹敏崇
抑モ孫ノ力量ヲ以テシテ廣東ニ
政府ヲ樹立シタルガ誤ナリ夫レ
ガ爲メ十数万ノ大兵ヲ養ヒ軍費
其他ノ諸費用ハ他省ニ比シ頗ル

MT 161852 0607

MT 161852 0606

多額ニシテ廣東人ノ負担ノ過重ナル事實ハ想像以上ナリ夫レニ尚ホ足レリトセズ商團軍ノ輸入シタル武寇迄モ横奪シタリ斯クノ如クシテ一般人民ニ好マル、苦ナク自分トシテハ同人ニ對シ此ノ好感ヲ有セズ故ニ今回當地ニ寄港シタル際モ出迎ヘザリテ同人ノ北京行ニテ廣東人ハ嚙カシ喜ベルナルベシ空想家タル同人ガ北京ニ赴キタリトテ果シテ何等ヲカ為ス得ベキ遠カラズシテ矢敗ニ陥ス

(4)

ルハ豫測ニ難カラズ云々

右ニ對スル本邦人ノ感想
自分ガ日常接觸スル支那人ハ主トシテ貿易高ナルガ彼等ノ大部分ハ孫文ガ北京ニ對抗シテ廣東政府ヲ樹立シ時ニ北代等ヲ計副シタ多数兵ヲ養ヒ又勞働者ニ味方シテ資本家ヨリ苛飲誅永ヲナシ最近ニ及ビテハ商團軍ノ兵寇ヲ押收スル等ノ事アリ為メニ其出身省ノ何

MT 161852 0609

MT 161852 0608

レヲ問ハズ彼等商人ヨリ好感ヲ以テ
 迎ヘラルハ、苦ナリ特ニ廣東人ニアリ
 テハ同人ノ北京行ニヨリテ其堵ニ
 安ズルヲ得ベシ自分ハ今回孫ノ來
 朝ニ際シ新聞記者ニ語リタル記事
 中支邦ノ内乱續發スル所以ハ内政
 上ヨリモ外國ノ干涉教唆ニ原因
 スル處多シトアリタルガ孫文程
 ノ大人物ニシテ斯ル言ヲ為シタ
 ルハ同人ノ為メ頗ル惜ムベキコト
 ナリト信ズ外國ノ干涉ト云ヒ教唆
 ト云ヒ縱シ然ルニ事實アリトス
 ルモ支邦人自身ニ欠陥アル為ニ
 シテ内ニ充實スル処アラバ外國ニ
 乗ゼラルハ、事ナカルベク殊ニ一國
 ニ外國人ヲ排斥シ居レルガ支邦今
 日ノ文明ヲ來シタルハ主トシテ外
 國ノ力ニヨルニアラズヤ外國ノ力
 ナクテハ鉄道ヲ敷設セラレザリシ
 ナルベク大汽船ノ長江ヲ遡ルコト
 モナカラム孫文ガ今直チニ外國ノ
 支邦ニ扶植シタル權利ノ回收ヲ呼
 バハルハ餘リニ虫ノヨク云ヒ分ニ
 シテ縱シ返附スルトスルモ之ニ代
 エベキ償金ナカラシ支邦トシテハ
 斯カル不法ノ言ヲ弄セズシテ先ッ

MT 161852 0611

MT 161852 0610

630399

自ラ内容ヲ充實セバ外國ノカハ要
求ナクシテ自ラ退クニ至ルベシヲ
石及甲(通)報候也

MT 161852 0612

REEL No. 1-0976

0344

630400

附屬書類添付

密 9634 18.12.

亞細亞局 兵部 第二六二九號

左

要請書

五

大正十三年十一月二十九日

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳村縣長官 殿

年 壹月拾六日 記録係 接受

孫文ノ行動(其ノ六)
既難ノ如ク孫文ノ歡迎會ニ付テハ支那人側ハ
当地神坂中華會議ニ於テ開催スル事定メ
リレ元一節在留民ノ猛烈ナル反對ニ恐レテ爲
日本人側ト合同才リ正ニタル事ニ於テ開催

スルコトナレルカ予定ノ如ク昨二十八日午後七
時ヨリ始メテ三時ノ開催ニテリ未廣トテ孫
夫妻「李烈鈞、戴天仇、耿鶴笙、俞德馨、
黃昌毅、井上謙吉、荳野長雄、山田純三郎、
菊地良一、宮崎龍介、宮崎震作、岡田
經一」十四名ニシテ参託人リ中華民士領事
館神戸商會會議所ハ日華實業振會神
阪華僑同人カ力ヲ予テ案内状ヲ發シタル
爲メ在留主ナル支那人ハ十三名中六十四名和
人百五名中九十五名出席者アリ先ツ参託人
側トシテ神戸商會會議所會議所ノ開演烈
草席日華實業振會會長ノ演説ナリ埃埃ノ
之ニ對シ孫文ハ戴天仇ノ通訳ヲ約三十分

MT 161852 0614

MT 161852 0613

9



3

今般商業會議所領事館其他各位が斯盛
大ナル歓迎会ヲ催シ下サレシ事ハ深ク感謝スル
第ナリマス斯等諸君より熱誠ナル歓迎ヲ受ケル
事ハ不日日文親善ヲ期シ得ル前途ハト自分
ハ信シテ居ル所第ナリマス今度又南支那
ヨリ北京ニ赴リコトハ恰モ南支那部全ヨリ此ノ
部全ニ行リシ等ナリ其途中貴國ヲ經テ
ハナラヌト云フ事ハ最モ日文ノ干渉力密
接ナル事ヲ物語ルモノデハナイカト思フ
ナリマス
日文ノ親善ハ数年新ニ堤唱シ来
ツテ所ナリマス今テ高士其奥現

MT 161852 0616

ヲ見ナイハ我カ國カ眠ル結果デア
リマス抑亦知ノ通リ只人ヲ我國ノ内
ニ下シ貴國ノ維新ニ策メテモデ
ナリマス其當時ハ時勢カ餘程
異ナリマス我カ國ハ一
世界各國ノ干渉ヲ受ケネハ
ナラヌト云フニ在リマス
又今日迄國內ノ秩序ヲ維持シ得ル
所以ハ此ノ干渉則チ列國ト締結シ
不平等ナル各別ニ基クモノヲ現在モ兩
國ヲ除ク十三ヶ國ニ對シ我國依然トシテ
不當ナル義務ヲ負ヒ列國ハ恰モ我國
共同植民地ノ如ク考ヘテ居ルナリマス

MT 161852 0617

630403

其我國民、常々憂慮を感ずる所、此等諸國、如キ
獨立國トノ親善、如何シテモ此等諸國、如キ
各等諸國、セシテハ、事、出来ナイ、テ
トリス、丁、使、依、テ、見、テ、モ、我國、先、ア、諸國
兄弟、立場、アル、テ、ス、カラ、現、在、兄、弟、状
ニ、同、情、シ、アル、ヤ、民族、提携、の、方、ニ、以、上、ノ
善、約、撤、テ、ハ、力、セ、ラ、レ、ニ、ト、テ、希望、ス、ン
此、等、テ、アリ、マス、云、ン

MT 161852 0618

REEL No. 1-0976

0348

機密
受第 9632 號
13.12. 2

大正十三年十一月二十九日

兵庫目不知事 平塚彦義

內務大臣 著 禮部
外務大臣 幫辦 袁 宣 部 政 收

年壹月拾六日 記錄係接受

要目付了。

孫文、行動（其一、七）

今日午刻九時半至王文例三司一訪者
卜引見是力午始一解道一而接者在一物V

林正華

文利浪人
朝鮮人協會總務
代議士 會長
神戶日日新聞婦人記者
沖人 安業泉
台灣總督府書記
東京商業會議所
中華市川市協榮會社
前通相
創設神戶高等女子學校校長
新島正久高子堂院長
皆川芳造
神谷忠生
新谷俊雄
百崎俊雄
相川小枝子
城川太郎作
山口政二
金東萊
徐基俊
遠矢平吉
佐藤知恭

MT 161852 0620

MT 161852 0619

630405

六及申
 (西)
 卯
 信
 也

九峰
尚戴天仇花在市下谷已左衛州四三
松室主生行對畫一通到末止多

方探史在女日，來信在，如シ
差出人 名古屋市中區下松寺通
松平院敷館

(書習) 黃絨
沖江部上簡井通七十目

在外北事終孫文光一暗早電報一通十年前

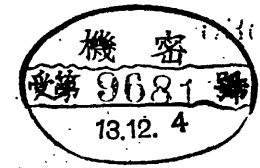
市大法院
京師商學會議事會頭
濱岡光哲
廣田集室

教諭 橫山實則

MT 161852 0622

MT 161852 0621

630406



亞細亞局 兵外務 第二三四號 綴込名 東洋部 大正十三年十二月一日

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定駐村縣長官殿



孫文一面会シタル支那浪人言動
縣下武庫部 西宮町池田

右者客月二十五日以來当地祭行、沖ノ新開紙上
ニ末期セル孫氏ノ眞假西面ト題シ前後三回ニ亘ル

論文ヲ掲載シ居タルカ孫文來沖以來屢々面会
ヲ或メ居タル其ノ意ヲ得ス客月二十九日ニ至リ漸
ク十数日間面談シテ大ニ得意ノ模様ナリシカ本
人ノ語ル所ニ依ルハ

自分ハ殆別面会スルハ必要ナカリシモ孫文ヨリ盛
ニ來訪ヲ約シテ已ムナリ面会シタル次第ナルカ
孫文ノ意見見トシテハ支那本土カ恰モ政米各國
ノ植民地タル觀ヲ呈シ政米人多ク入り込ミテ專
横ヲ逞フシ又支那ノ利権ヲ搾取ス殊ニ今回ノ
勸告ニ係リハ軍閥兵備等一味ニ対シ英米
ノ援助アリ使シカ長江ニ進クルノ際ハ英國カ
之ヲ警備シタルニナラス蘇浙數ニ於テハ伊太利
兵カ浙江軍ニ拏死シタル事實アリ實ニ

MT 161852 0624

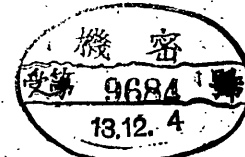
MT 161852 0623

630407

不當モ甚シキモノニレテ今後支那トシテハ其ノ國土
ヨリ改米各國ノ特殊不當ノ勢力ヲ掃蕩スル
方法ヲ講スル共ニ日本ヲ頭主トシテ亞細亞ノ大
同團結ヲ遂ケテ改米ニ対抗スルコトハ急務中
ノ急務ナルヲ以テ此ノ意味ニ於テ日本政社
解ヲ求ムヘイ来郵シタル次第ナル政社當否
東上ハ見合セヨトノコトナリシニ依リ神戶ニ滞
在スルコトナリタルモノナリ日本政社當否ハ自分
ヲ辯イルハ自分ノ支那革命當時急進主義
ヲ抱持シタル關係アリ又改米諸國ニ対スル
氣氛系モアレカ爲メナルレト稱ス居タル格
別不満アリテ様子モナカリナニト
在及中(通)報候也

MT 161852 0625

630408



亞細亞局

兵部終第二六三五號

大正十三年十二月

第一課

綴込名

要任者

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定駐村縣長官殿

知名支那人來往一件

東京居住

和孫之秋書廣東軍司令部特派員

段汝耕

夫人同伴

上野目録

右客月三十日鐵路來沖同日午前十時出組
汽船長崎九二上海へ向へ
古及申(通)報候也

MT 161852 0627

MT 161852 0626

630409

機密
9688
13.12.4

亞細亞局

兵外務秘第三三三號 / 三

第一課

綴込名

安地高

大正十三年十一月下

兵庫果知事 平塚廣義

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原素重郎殿
横濱市有果長官殿

孫文氏訪問より中国共産党東京支部より

行動(其ノ三)

中国共産党東京支部執行委員

早稲田大学より 廣田氏

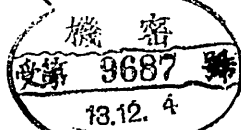
外西

右者等ハ一月二十四日孫文氏ヲ神戸自京頭ニ出
迎ヘタル後引續キ神戸市中山手通ニ向
同志社ニ滞在シテ十一月二十八日ハ縣立神戸
高等女子学校ニ孫文氏ノ講演ヲ開キ三十日朝孫
文氏ヲ神戸ヲ見送りタル後同日午後一時五十二
分三宮駅發行列車ニテ神戸ニ来セリ
右ハ(通)報候也

MT 161852 0629

MT 161852 0628

630410



亞細亞局
兵外弁秘第五六號ニ

大正十三年十一月一日

兵庫縣知事 平塚 廣義

第一課

綴込名

要注人

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定各廳府縣長官殿

大正十三年十一月六日 記録係接受

孫文ヲ訪問シタル要視察人ノ行動ニ

関スル件 (其ノ三)

警視廳編入要視人

却 兆 光

当二十八日

右者客月二十六日未申孫文ヲ訪問シテ以來引續キ神戸市中
山手通ニ目尚志社ニ滞在シ日々オシタルホレルノ孫文事
務所ニ至リ同志気取リテ島路野突キカラ李烈鈞ニモ
面談セハト其ノ所ヲ逐ヒ廻リ居タルカ漸ク二十八日午後零
時頃李ノ宿舎ニ「田中屋」ニテ約三十分間面談シタル後
同日ハ恰モ孫文講演会当日ナリシニ依リ会場ニ赴キ又全
夜オシタルホレルニ於テ同催セラレタル孫文歡迎会ニモ
出席シタル、而シテ翌二十九日ハ朝ヨリ例ニ依リテ孫文事務
所ニ在リ先カ午前十一時頃李烈鈞、前應麓ノ両名ヲ
神戸市三宮町ニ目支那料理店天生俱樂部ニ伴ヒ
午餐食ヲ共ニシ全夜ハ其ノ旅宿ナル尚志社ニ泊リ翌早
朝全所ヲ立テ出テタルモ孫文事務所ニ至ラス又其ノ出
発ニ際シテモ見送人ノ中ニ姿ヲ現ハサ、リシガ今日午後

MT 161852 0631

MT 161852 0630

630411

一時五分三宮殿祭列東ニテ別報国民党中央
支部員ト共ニ歸京スト稱シ出奔シタリ
而シテ今人ハ其出奔ノ期在留支那人ニ三名ヲ訪
問シ華僑聯合会趣意書様ノモヲ配附シテ入会
並其勧誘方ヲ依頼シタル疑アリ内偵中
右及申(通報候也)

MT 161852 0632

REEL No. 1-0976

0356

630412

機密
受第 9694 號
13.12. 4

亞細亞局

兵外秘第 二六四九 號

大正十三年十二月一日

兵庫縣知事 平塚 廣義

第一課
綴込名

西谷 孝

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定各廳府縣長官殿

當地支那領事、孫文隨行員招待

ニ因スル件

最ニ李烈鈞來朝、際ハ當地支那領事館員等、
政府及對者、故ヲ以テ甚ダシク冷淡ニ構ヘ南方派
ハ吾人ハ仇敵ナリ等公言シ居タルカ支那政局ハ變遷

ニ伴ヒ彼等ノ態度モ亦大ニ變遷シ來シ今固孫文來
邦ニ際シテハ出迎ニ歡迎合シ各種ノ斡旋ニ盛ニ奔走
シテ尚及ハサルヲ恐ルモ、如クナリレカ客月ニ十九日
更ニ一行中、李烈鈞、戴天仇、俞應麓、黃惠隆
ノ四名ヲ神戸市ニ宮町ニ目支那料理店夫生俱
樂部ニ招待シテ午後一時ヨリ夕餐食ヲ共ニシテ衷心
歡迎ノ意ヲ表シ午後七時頃談笑シテ解散シタリ
右及申(通)報候也

年壹月拾六日記録係接受

MT 161852 0634

MT 161852 0633

630413



亞細亞局

兵外務部第二六九號

綴込名

要人

第一課

大正十三年十二月

兵庫縣知事 平塚廣義

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿

大正十三年一月十六日 記録係 接受

要目付

孫文ノ行動（其ハ）

客月二十九日午後、訪問者中孫文ノ面會シタル者ハ頭山満、饒平名智太郎、海軍少佐鍋木武夫、神戸レバパンシロニール記者英園人ブールス、フオード和岡長史、名村太郎（山口銀行員）等ニシテ孫文ハ

午後九時半頃就寝シ

翌日予定、如ク午前十時神戸出帆、汽船北嶺丸ニテ天津ニ赴キヘク旅装ヲ調ヘ、當廳差廻シ、自働車四臺ニ合乗第三突堤ニ赴キテ直ニ乗船シタルカ見送人ハ約五百名ニ達シテ、而シテ孫文ハ来朝以來本邦官民ノ好意ニ非常ニ満足セルモノ如ク録リ返シテ謝意ヲ漏シ且ツ曰ク大正二年来邦ノ際ト今回トヲ比較シテ余ニ對スル貴國民ノ感情カ非常ニ親密ノ度ヲ加ヘタルコトヲ感知シタルカ之明カニ貴國民ノ東亞民族團結ノ必要ヲ痛感セラレタル結果ニシテ世界ノ平和確保ノ前提ナリ余ハ此一事ヲ感得シタルト依リテ今回来朝ノ徒ホナラナリレコトヲ衷心ヨリ欣喜スルモノナリト

MT 161852 0636

MT 161852 0635

630414

印シテ一行ハ定刻無事出發シタルニヨリ其首級
保司令長官知事(貴官)ニ電報シ且ツ萬一
ヲ慮リ護衛官一名ヲ附司追同
船セシメタリ
右及中(通)教候也

MT 161852 0637